

# 平成 29 年度うきは市内創業者実態調査分析業務

## 分析報告書

# 目次

<b>I. 調査概要</b> .....	<b>3</b>
<b>II. 調査結果</b> .....	<b>4</b>
1. 開業時の年齢 .....	4
2. 性別、及び最終学歴 .....	4
3. 開業直前の職業 .....	5
4. 勤務キャリア、及びその経験年数.....	6
5. 開業直前の勤務先からの離職理由.....	7
6. 開業地をうきは市とした理由.....	7
7. 開業動機 .....	8
8. 現在の事業に決めた理由.....	8
9. 開業業種、及び商圈の範囲.....	9
10. 従業員数 .....	10
11. 開業費用 .....	10
12. 開業時の資金調達 .....	11
13. 開業後の状況と開業にかかる課題.....	12
14. 開業時に苦勞したこと、及び現在苦勞していること.....	14
15. 開業時に自信があった、及び現在自信がある知識・能力.....	15
16. 開業にあたり、相談した支援機関.....	16
17. 現在の満足度 .....	17
18. 今後の方針 .....	19
19. クロス集計 【開業時に自信があった知識・能力】 .....	21
20. クロス集計 【現在自信のある知識・能力】 .....	22
21. R E S A S データ .....	23
22. 創業及び創業後の支援について.....	26
<b>III. まとめ</b> .....	<b>27</b>

## I. 調査概要

### 1. 調査目的

本調査は、平成 27 年 5 月に国から認定を受けた「うきは市創業支援事業計画」に基づき実施してきた、うきは市における創業支援の効果及び創業者の現状を把握し、今後の施策へフィードバックするための基礎情報をまとめることを目的とする。

### 2. 調査時点

平成 30 年 2 月

### 3. 調査対象

平成 27～29 年度にかけてうきは市内で創業した 25 事業者

※創業者のリストについてはうきは市から提供を受け、最終的な対象事業者はうきは市との協議により決定した。

### 4. アンケート内容

日本政策金融公庫が例年実施する「新規開業実態調査」内容を参考に、うきは市との協議により決定した。

### 5. 調査方法

#### (1) アンケート配布

「株式会社ちくぎん地域経済研究所」の母体行である「株式会社筑邦銀行」の営業店（吉井支店）行員により、調査対象者宛直接訪問のうえアンケートを持参し、アンケートへの記入を依頼。

#### (2) アンケート回収

アンケート配布時と同様に、「株式会社ちくぎん地域経済研究所」の母体行である「株式会社筑邦銀行」の営業店（吉井支店）行員により、調査対象者宛直接訪問のうえアンケートを回収。尚、訪問（実査）時には単なるアンケート回収に留まらず、金融機関ならではのアプローチにより調査対象者に対して多面的なヒアリング調査を実施し、本アンケート調査項目以外の情報を得るのみならず、経営面のアドバイス等を実施した。

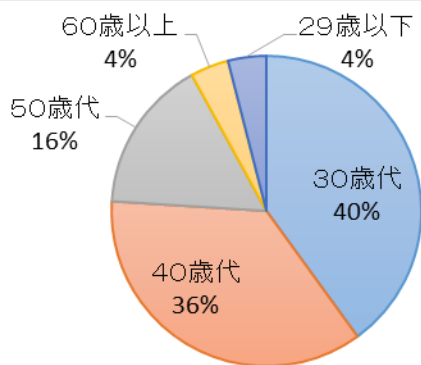
### 6. 留意事項

- ・各調査項目の全体数が「25（調査対象者数）」に満たない項目については、その項目に対し調査対象者からの回答がなかったためである。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計が 100%を超える場がある。

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 開業時の年齢

開業時の年齢は、「30歳代」が40%と最も多く、次いで「40歳代」が36%、「50歳代」が16%となっている。一方で、「20歳代」「60歳代」はそれぞれ4%と最も低い割合となった。

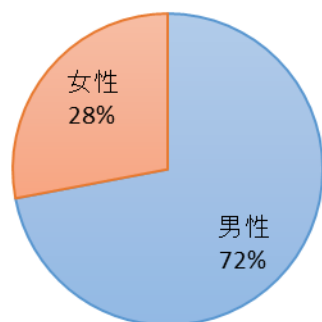


29歳以下	1
30歳代	10
40歳代	9
50歳代	4
60歳以上	1
全体	25

### 2. 性別、及び最終学歴

#### (1) 性別

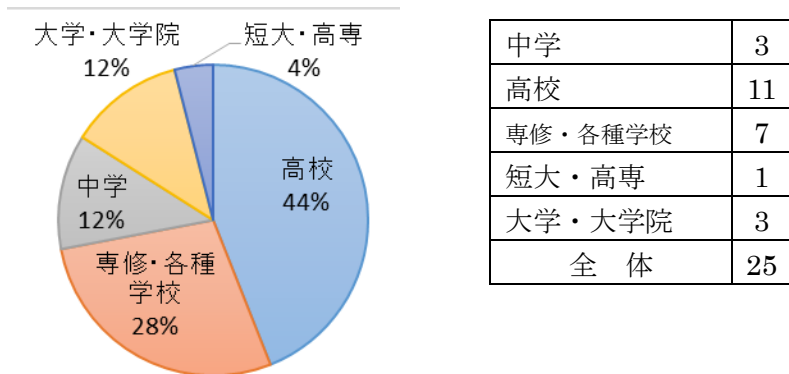
創業者に占める「男性」の割合は72%、「女性」の割合は28%となっている。



男性	18
女性	7
全体	25

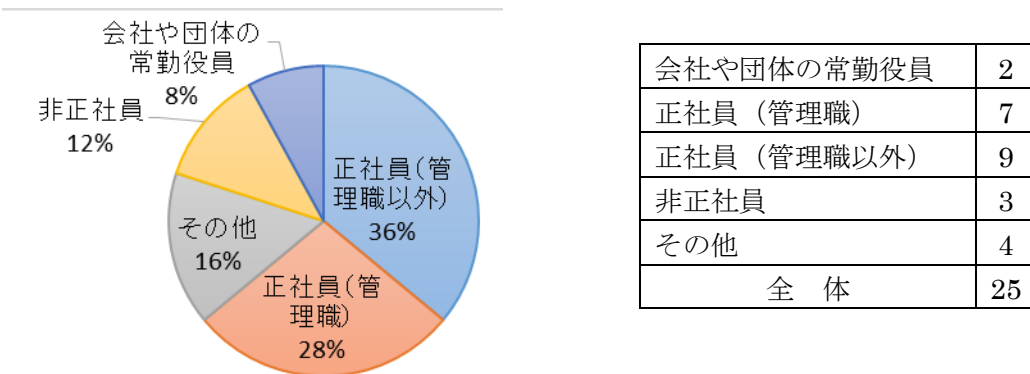
## (2) 最終学歴

最終学歴は、「高校」が44%と最も多く、次いで「専修・各種学校」が28%、「中学」「大学・大学院」がそれぞれ12%となっている。



## 3. 開業直前の職業

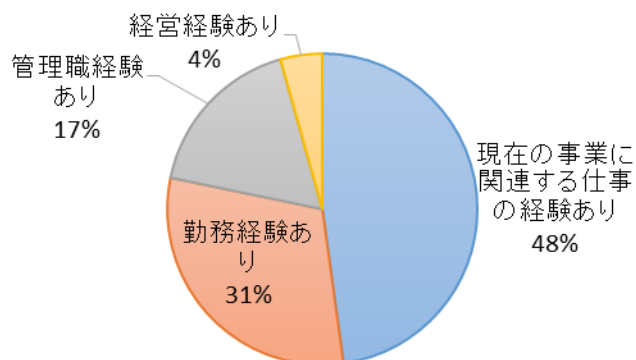
開業直前の職業は、「正社員（管理職以外）」の割合が36%と最も多く、次いで「正社員（管理職）」が28%、「その他」が16%、「非正社員」が12%、「会社や団体の常勤役員」が8%となっている。



#### 4. 勤務キャリア、及びその経験年数

##### (1) 勤務キャリア

勤務キャリアは、「現在の事業に関連する仕事の経験あり」の割合が48%と最も多く、次いで「勤務経験あり」が31%、「管理職経験あり」が17%となっている。

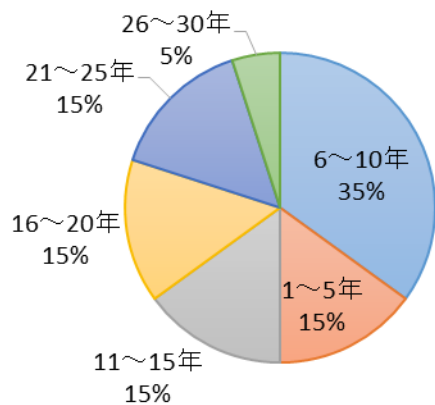


勤務経験あり	7
現在の事業に関連する仕事の経験あり	11
管理職経験あり	4
経営経験あり	1
全 体	23

##### (2) キャリア経験年数

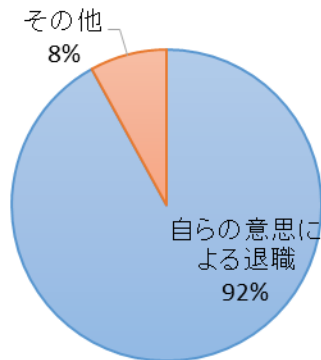
キャリア年数は、「6～10年」の割合が35%と最も多く、次いで「1～5年」「11～15年」「16～20年」「21～25年」がいずれも15%となっている。

また、キャリア経験年数の平均値は 13.7年となっている。



## 5. 開業直前の勤務先からの離職理由

開業直前の勤務先からの離職理由は、「自らの意思による退職」が92%と大半を占めている。なお、「その他」の理由としては、「定年退職」「任期満了」。

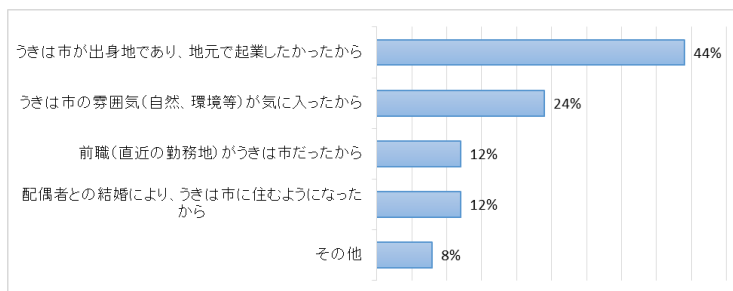


自らの意思による退職	23
勤務先の倒産・廃業	0
事業部門の縮小・撤退	0
解雇	0
その他	2
全体	25

## 6. 開業地をうきは市とした理由

開業地をうきは市とした理由は、「うきは市が出身地であり、地元で起業したかったから」の割合が44%と最も多く、次いで「うきは市の雰囲気(自然、環境等)が気に入ったから」が24%、「前職(直近の勤務地)がうきは市だったから」「配偶者との結婚により、うきは市に住むようになったから」がそれぞれ12%、「その他」が8%となっている。

なお、「その他」の理由としては、「前社長を引き継いだ為」「義理の息子がうきは市出身の為」となっている。

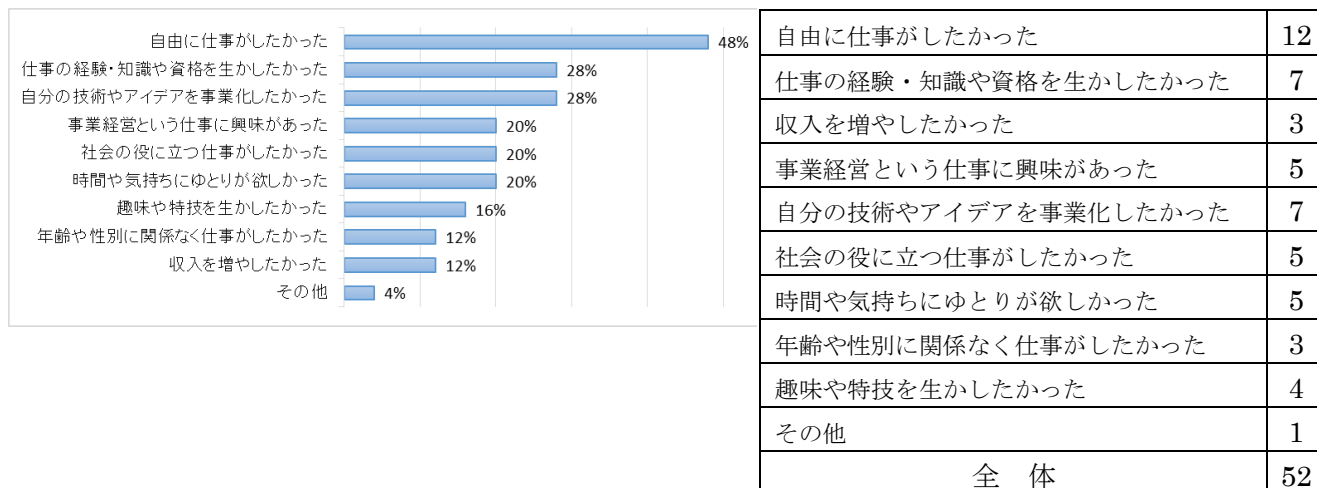


前職(直近の勤務地)がうきは市だったから	3
配偶者との結婚により、うきは市に住むようになったから	3
うきは市の雰囲気(自然、環境等)が気に入ったから	6
うきは市が出身地であり、地元で起業したかったから	11
行政等による移住・定住支援が充実していたから	0
その他	2
全体	25

## 7. 開業動機 ※3つまでの複数回答可

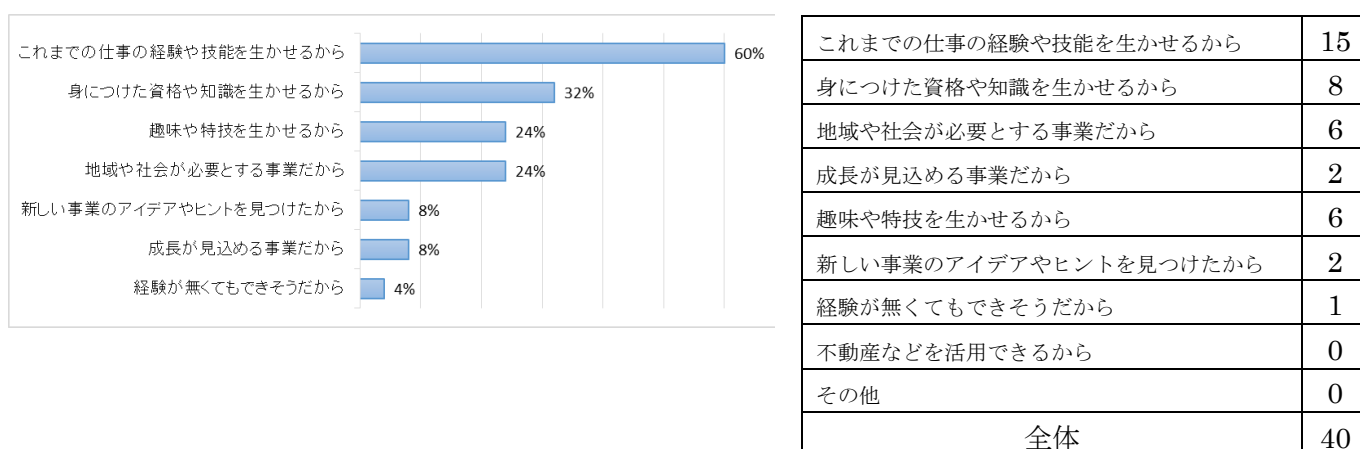
開業動機は、「自由に仕事をしたかった」の割合が48%と最も多く、次いで「仕事の経験・知識や資格を生かしたかった」「自分の技術やアイデアを事業化したかった」がそれぞれ28%、「事業経営という仕事に興味があった」「社会の役に立つ仕事をしたかった」「時間や気持ちにゆとりが欲しかった」がそれぞれ20%となっている。

また、その他の意見として「若いしやり直しがきく、なんでもやってみようと思ったから」「雇用を作りたかったから」との意見があった。



## 8. 現在の事業に決めた理由 ※複数回答あり

現在の事業に決めた理由は、「これまでの仕事の経験や技能を生かせるから」の割合が60%と最も多く、次いで「身につけた資格や知識を生かせるから」が32%、「趣味や特技を生かせるから」「地域や社会が必要とする事業だから」がそれぞれ24%となっている。

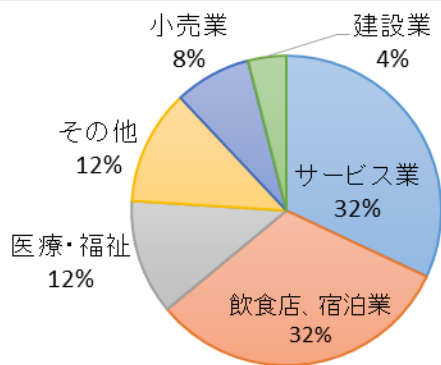




## 9. 開業業種、及び商圈の範囲

### (1) 開業業種

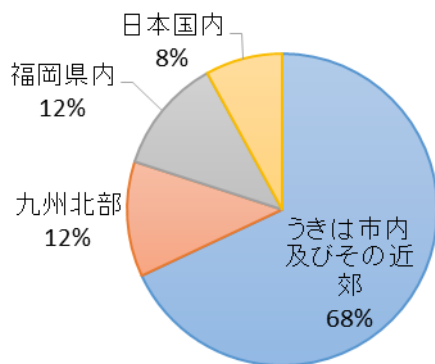
開業業種は、「サービス業」「飲食店、宿泊業」の割合がそれぞれ 32%と最も多く、次いで「医療・福祉」が 12%、「小売業」が 8%となっている。



サービス業	8
医療・福祉	3
飲食店、宿泊業	8
小売業	2
建設業	1
その他	3
全 体	25

### (2) 商圈の範囲

商圈の範囲は、「うきは市内及びその近郊」の割合が 68%と最も多く、次いで「福岡県内」「九州北部」がそれぞれ 12%となっている。



うきは市内及びその近郊	17
福岡県南部	0
福岡県内	3
九州北部	3
九州一円	0
日本国内	2
海外	0
全 体	25

## 10. 従業員数

### (1) 開業時の平均従業員数

役員数	<u>0.72</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.28</u> 名)
正社員数	<u>0.56</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.12</u> 名)
パート・アルバイト	<u>1.36</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.12</u> 名)
派遣社員・契約社員	<u>※6.44</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.00</u> 名)

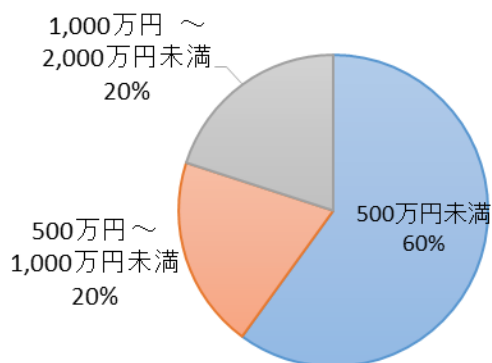
### (2) 現在の平均従業員数

役員数	<u>0.76</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.40</u> 名)
正社員数	<u>0.76</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.24</u> 名)
パート・アルバイト	<u>2.20</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.08</u> 名)
派遣社員・契約社員	<u>※6.12</u> 名	(うち、代表者の家族・親族の人数 <u>0.04</u> 名)

※創業者のうち1社が派遣業を営んでおり、(1)の派遣社員・契約社員数160名、(2)の派遣社員・契約社員数150名と回答あった為、本数値のみ突出した数値となっている。

## 11. 開業費用

開業費用は、「500万円未満」の割合が60%と最も多く、次いで「500万円～1,000万円未満」「1,000万円～2,000万円未満」がそれぞれ20%となっている。

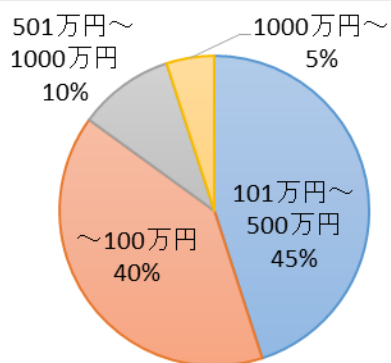


500万円未満	15
500万円～1,000万円未満	5
1,000万円～2,000万円未満	5
2,000万円以上	0
全体	25

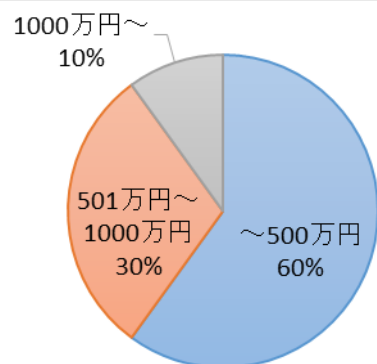
## 12. 開業時の資金調達 ※出資含む

開業時の平均資金調達額は 741万円であった。

### ①自己資金平均調達額は 314万円

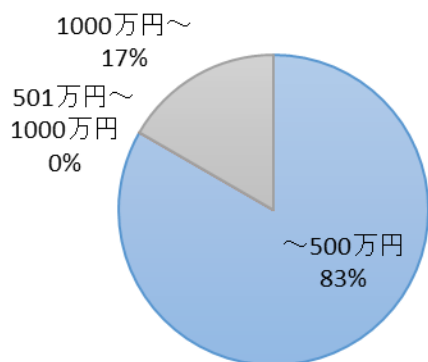


### ②金融機関等からの平均借入額は 645万円



### ③自己資金、金融機関等以外 ※からの平均調達額は 400万円

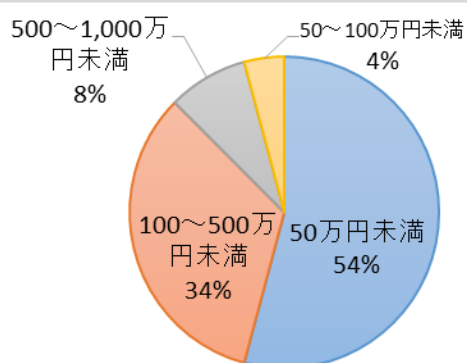
※配偶者、親、兄弟、親戚、友人、知人



### 13. 開業後の状況と開業にかかる課題

#### (1) 現在の月商

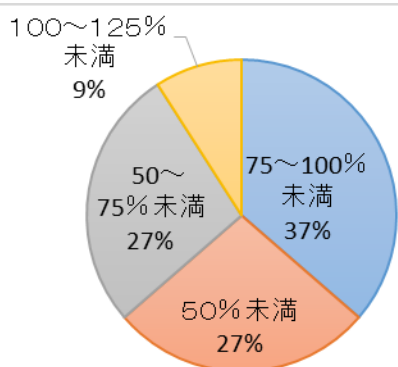
現在の月商は、「50万円未満」の割合が54%と最も多く、次いで「100万円～500万円未満」が34%、「500万円～1,000万円未満」は8%となっている。



50万円未満	13
50万円～100万円未満	1
100万円～500万円未満	8
500万円～1,000万円未満	2
1,000万円以上	0
全体	24

#### (2) 予想月商達成率 ※予想月商達成率 = (調査時点の平均月商 ÷ 開業前に予想していた月商) × 100

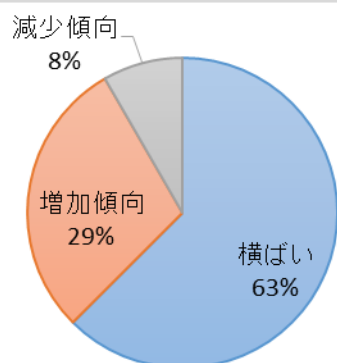
予想月商達成率は、「75～100%未満」の割合が37%と最も多く、次いで「50%未満」「50～75%未満」がそれぞれ27%となっている。



50%未満	6
50～75%未満	6
75～100%未満	8
100～125%未満	2
125%以上	0
全体	22

### (3) 現在の売上状況

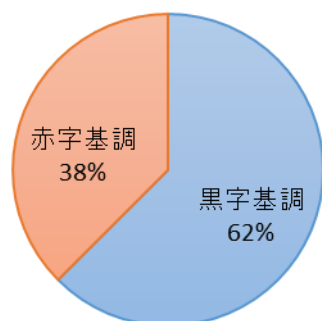
現在の売上状況は、「横ばい」が63%と最も多く、次いで「増加傾向」が29%、「減少傾向」が8%となっている。



増加傾向	7
横ばい	15
減少傾向	2
全体	24

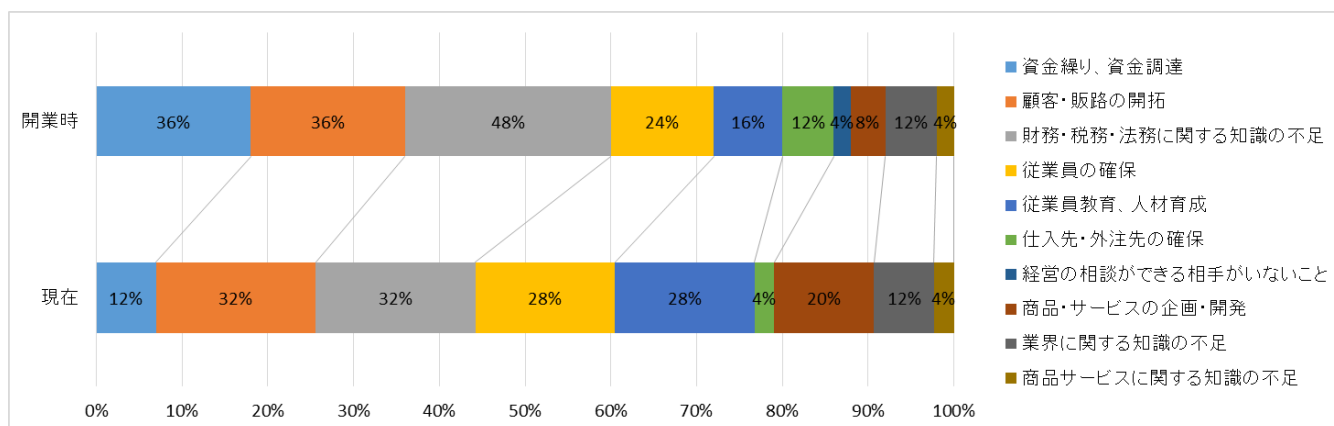
### (4) 現在の採算状況

現在の採算状況は、「黒字基調」が62%、「赤字基調」が38%となっている。



黒字基調	15
赤字基調	9
全体	24

## 14. 開業時に苦勞したこと、及び現在苦勞していること



### (1) 開業時に苦勞したこと ※3つまでの複数回答可

開業時苦勞したことは、「財務・税務・法務に関する知識の不足」の割合が48%と最も多く、次いで「資金繰り、資金調達」「顧客・販路の開拓」がそれぞれ36%、「従業員の確保」が24%、「従業員教育、人材育成」が16%となっている。

資金繰り、資金調達	9
顧客・販路の開拓	9
財務・税務・法務に関する知識の不足	12
従業員の確保	6
従業員教育、人材育成	4
仕入先・外注先の確保	3
経営の相談ができる相手がいないこと	1
商品・サービスの企画・開発	2
業界に関する知識の不足	3
商品サービスに関する知識の不足	1
全体	50

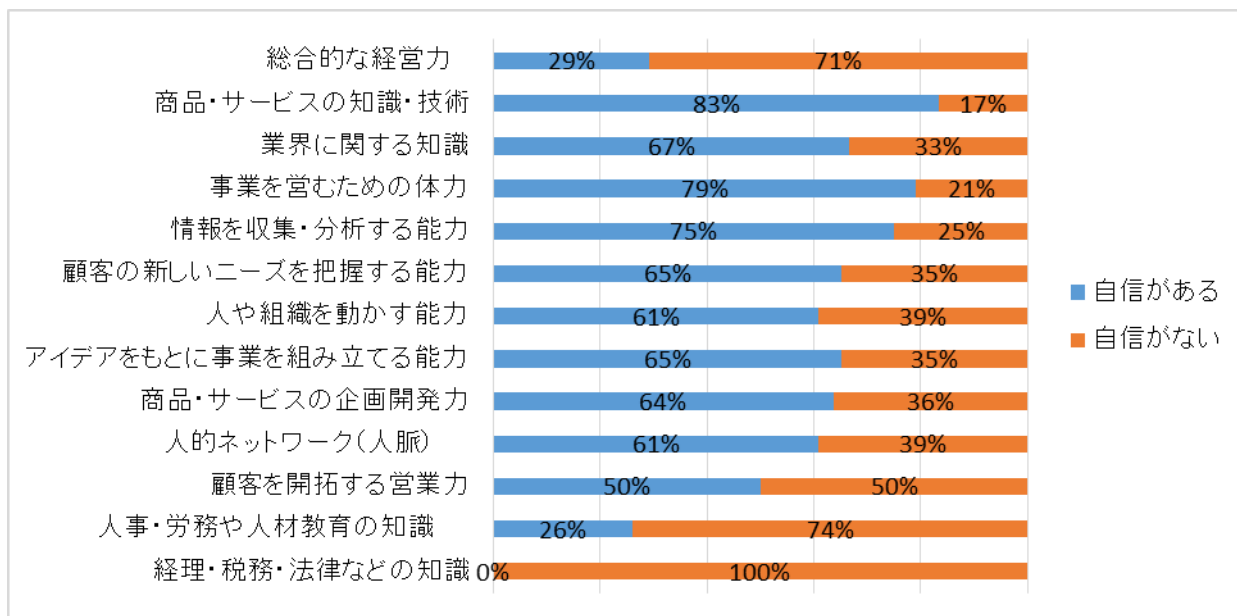
### (2) 現在苦勞していること ※3つまでの複数回答可

現在苦勞していることは、「顧客・販路の開拓」「財務・税務・法務に関する知識の不足」の割合がどちらも32%と最も多く、次いで「従業員の確保」「従業員教育、人材育成」がそれぞれ28%、「商品・サービスの企画・開発」が20%となっている。

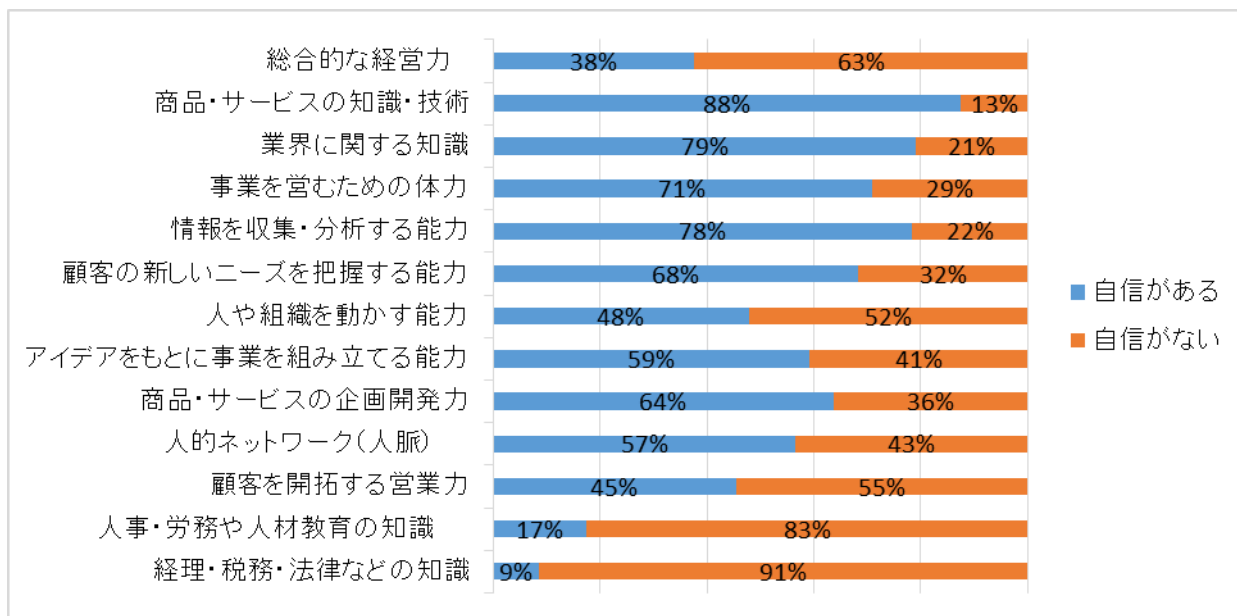
資金繰り、資金調達	3
顧客・販路の開拓	8
財務・税務・法務に関する知識の不足	8
従業員の確保	7
従業員教育、人材育成	7
仕入先・外注先の確保	1
経営の相談ができる相手がいないこと	0
商品・サービスの企画・開発	5
業界に関する知識の不足	3
商品サービスに関する知識の不足	1
全体	43

## 15. 開業時に自信があった、及び現在自信がある知識・能力

### (1) 開業時に自信があった知識・能力

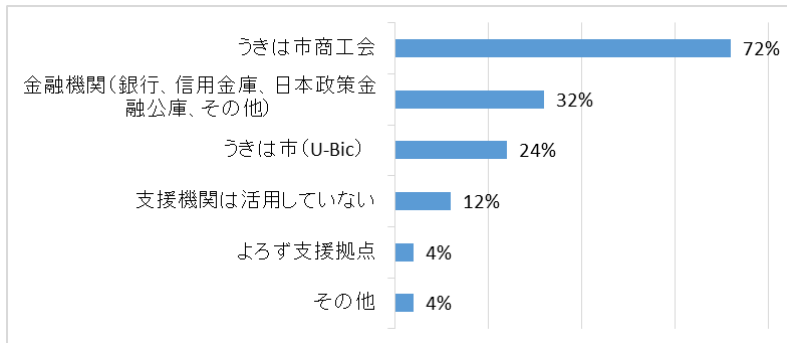


### (2) 現在自信がある知識・能力



**16. 開業にあたり、相談した支援機関** ※複数回答あり

開業にあたり相談した機関は、「うきは市商工会」の割合が72%と最も多く、次いで「金融機関」の32%、「うきは市」の24%となっている。



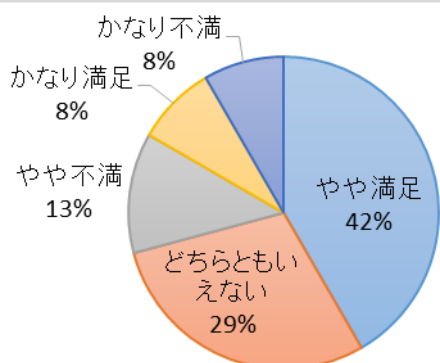
うきは市 (U - Bic)	6
うきは市商工会	18
よろず支援拠点	1
金融機関	8
支援機関は活用していない	3
その他	1
全 体	37



## 17. 現在の満足度

### (1) 総合的な満足度

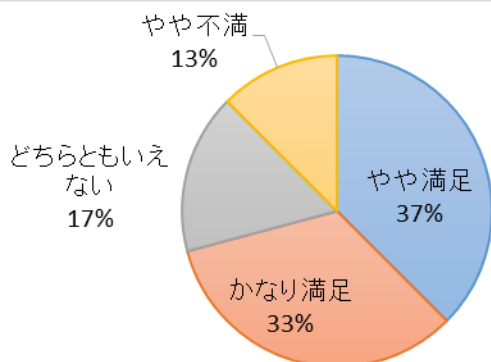
現在の満足度の中で「総合的な満足度」は、「やや満足」の割合が42%と最も多く、「かなり満足」の8%と合わせて約5割の創業者が満足している。



かなり満足	2
やや満足	10
どちらともいえない	7
やや不満	3
かなり不満	2
全体	24

### (2) やりがい (自分の能力の発揮)

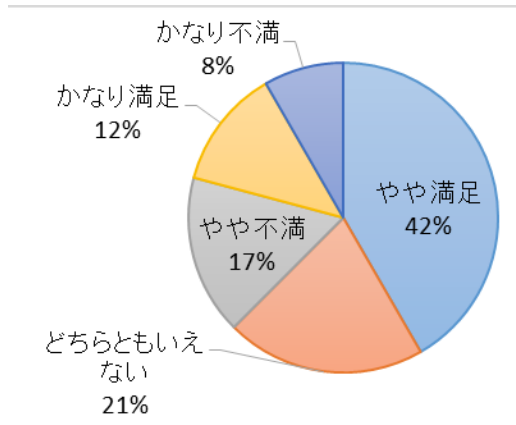
現在の満足度の中で「やりがい」については、「やや満足」の割合が37%と最も多く、「かなり満足」の33%と合わせて約7割の創業者が満足している。



かなり満足	8
やや満足	9
どちらともいえない	4
やや不満	3
かなり不満	0
全体	24

### (3) 働く時間の長さ

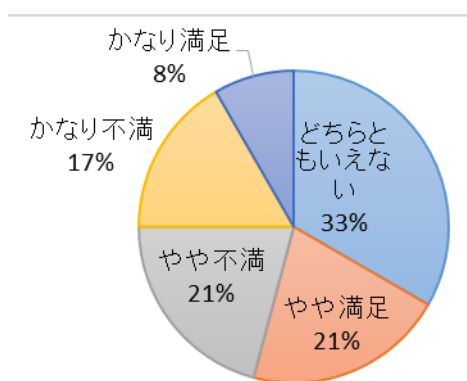
現在の満足度の中で「働く時間の長さ」については、「やや満足」の割合が42%と最も多く、「かなり満足」の12%と合わせて約5割の創業者が満足している。



かなり満足	3
やや満足	10
どちらともいえない	5
やや不満	4
かなり不満	2
全体	24

### (4) 事業からの収入

現在の満足度の中で「事業からの収入」については、「やや満足」の割合が21%、「かなり満足」が8%と創業者の約3割が満足している。逆に「やや不満」の割合が21%、「かなり不満」が17%と創業者の約4割が不満を感じている。

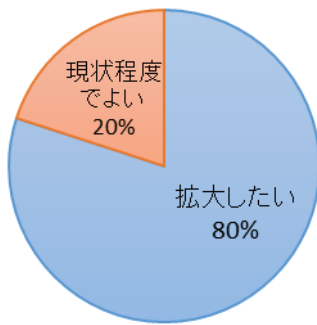


かなり満足	2
やや満足	5
どちらともいえない	8
やや不満	5
かなり不満	4
全体	24

## 18. 今後の方針

### (1) 売上高

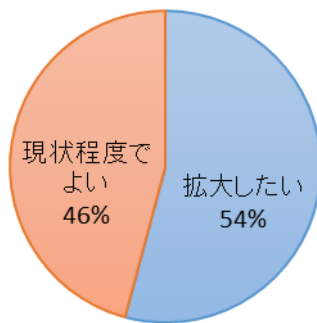
今後の方針として「売上高」は、「拡大したい」の割合が80%と最も多く、次いで「現状程度でよい」が20%となっている。



拡大したい	20
現状程度でよい	5
縮小したい	0
全体	25

### (2) 商圏

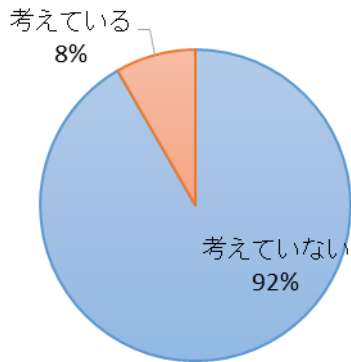
今後の方針として「商圏」は、「拡大したい」の割合が54%と多く、次いで「現状程度でいい」が46%となっている。



拡大したい	13
現状程度でよい	11
縮小したい	0
全体	24

### (3) 開業した企業の株式公開

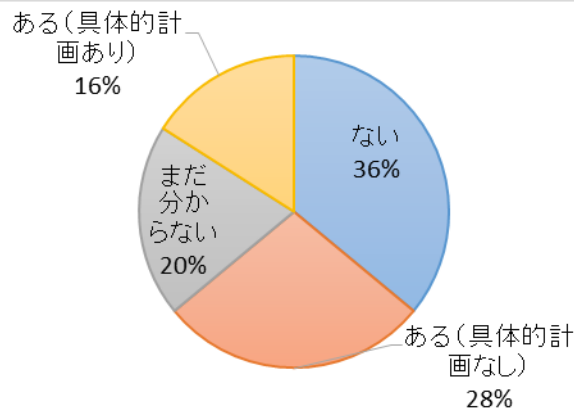
今後の方針として「開業した企業の株式公開」は、「考えていない」の割合が 92%となっている。



考えている	2
考えていない	22
全 体	24

### (4) 新たな企業の設立意思

今後の方針として「新たな企業の設立意思」は、「ある(具体的計画あり)」と「ある(具体的計画なし)」の割合があわせて 44%となっている。



ある(具体的計画あり)	4
ある(具体的計画なし)	7
ない	9
まだ分からない	5
全 体	25

### 19. クロス集計【開業時に自信があった知識・能力】

(数値) 上段: % 下段: 件数		【開業時に自信があった知識・能力】																									
		総合的な経営力		知識・技術		業界に関する知識		事業を営むための体力		情報を収集・分析する能力		顧客の新しいニーズを把握する能力		人や組織を動かす能力		アイデアを基に事業を組み立てる能力		企画開発力		(人的ネットワーク)		顧客を開拓する営業力		人事・労務や人材教育の知識		経理・税務・法律などの知識	
		自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無
性別	男性	18%	64%	68%	14%	59%	23%	64%	18%	68%	14%	57%	24%	52%	29%	52%	29%	50%	30%	57%	24%	40%	40%	24%	57%	0%	82%
	女性	5%	14%	14%	5%	9%	9%	14%	5%	9%	9%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	5%	14%	10%	10%	0%	19%	0%	18%
	合計	22		22		22		22		22		21		21		21		20		21		20		21		22	
年代別	29歳以下	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	30歳代	9%	36%	41%	5%	35%	9%	38%	5%	36%	9%	29%	19%	19%	24%	30%	15%	30%	15%	29%	14%	26%	21%	9%	36%	0%	45%
	40歳代	9%	23%	32%	0%	17%	17%	29%	5%	27%	5%	24%	5%	29%	5%	25%	10%	30%	0%	19%	14%	32%	5%	18%	14%	0%	32%
	50歳代	5%	14%	9%	9%	9%	9%	10%	10%	9%	9%	10%	10%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	0%	11%	0%	18%	0%	18%
	60歳以上	0%	5%	0%	5%	4%	0%	0%	5%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	0%	5%	5%	0%	5%	0%	0%	5%	0%	5%
	合計	22		22		23		21		22		21		21		20		20		21		19		22		22	
開業直前の職業	常勤役員	0%	9%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	10%	0%	5%	5%	5%	5%	10%	0%	5%	5%	10%	0%	5%	5%	0%	10%	0%	9%
	正社員(管理職)	9%	18%	27%	0%	18%	9%	23%	5%	29%	0%	24%	5%	24%	5%	24%	5%	30%	0%	14%	14%	20%	10%	10%	19%	0%	27%
	正社員(管理職以外)	9%	27%	36%	0%	27%	9%	27%	9%	29%	5%	29%	5%	24%	10%	10%	24%	10%	20%	29%	5%	15%	15%	10%	24%	0%	36%
	非正社員	0%	9%	0%	9%	5%	5%	5%	5%	5%	0%	10%	0%	10%	0%	10%	5%	5%	0%	10%	0%	10%	0%	0%	10%	0%	9%
	その他	5%	14%	14%	5%	14%	5%	18%	0%	5%	14%	10%	10%	10%	10%	14%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	5%	14%	0%	18%
合計	22		22		22		22		21		21		21		21		20		21		20		21		22		
勤務キャリア	勤務経験あり	5%	20%	20%	5%	11%	11%	10%	15%	20%	5%	21%	5%	15%	10%	5%	20%	5%	25%	16%	5%	11%	16%	0%	25%	0%	25%
	現在の事業関連の経験有	10%	40%	40%	10%	42%	11%	40%	10%	35%	15%	26%	21%	30%	20%	30%	20%	30%	15%	37%	16%	21%	26%	15%	35%	0%	50%
	管理職経験あり	5%	15%	20%	0%	11%	11%	20%	0%	20%	0%	21%	0%	15%	5%	20%	0%	20%	0%	16%	5%	16%	5%	0%	20%	0%	20%
	経営経験あり	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	0%	5%	5%	0%	5%	0%	0%	5%
	合計	20		20		19		20		20		19		20		20		20		19		19		20		20	

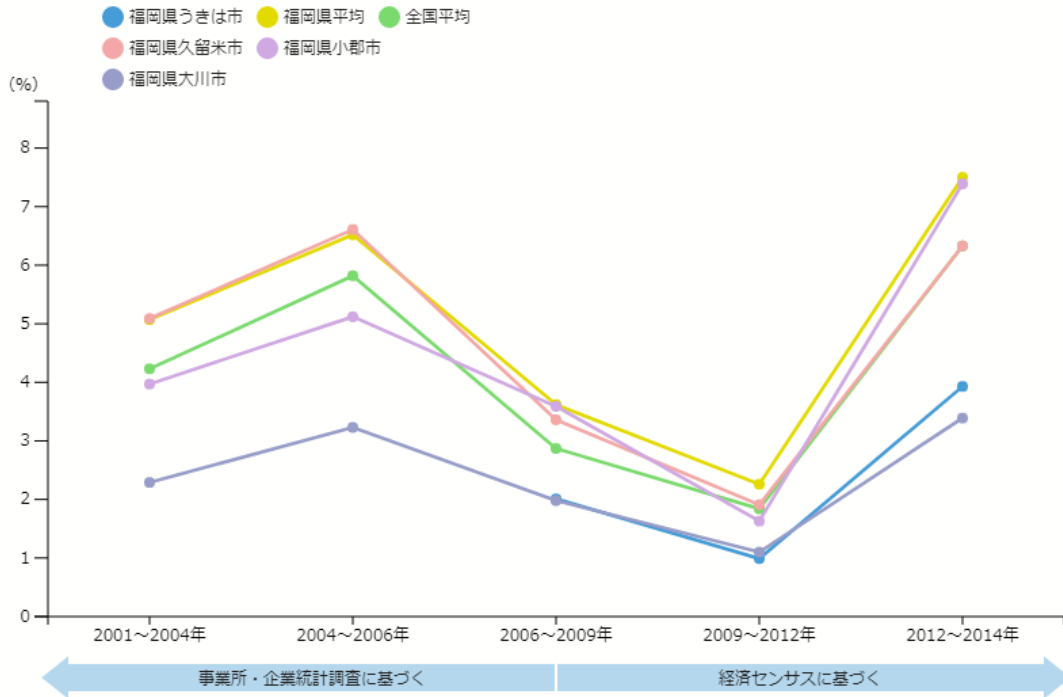
## 20. クロス集計【現在自信のある知識・能力】

(数値) 上段:% 下段:件数		【現在自信のある知識・能力】																											
		総合的な経営力		知識・商品・サービスの技術		業界に関する知識		体力・事業を営むための		情報を収集・分析する能力		顧客の新しいニーズを把握する能力		人や組織を動かす能力		アイデアを基に事業を組み立てる能力		企画開発力		商品・サービスの開発力		（人脈）人的ネットワーク		顧客を開拓する営業力		人事・労務や人材教育の知識		経理・税務・法律などの知識	
		自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無	自信有	自信無
性別	男性	35%	43%	70%	9%	57%	22%	57%	22%	68%	9%	62%	14%	48%	30%	43%	33%	48%	29%	43%	35%	41%	36%	19%	57%	9%	68%		
	女性	4%	17%	17%	4%	17%	4%	13%	9%	9%	14%	10%	14%	4%	17%	14%	10%	14%	10%	9%	13%	9%	14%	0%	24%	0%	23%		
	合計	23	23	23	23	23	22	21	23	21	21	23	21	21	23	21	21	23	22	21	23	22	21	22	21	22			
年代別	29歳以下	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
	30歳代	9%	35%	39%	4%	30%	13%	35%	9%	29%	14%	24%	19%	14%	27%	26%	21%	32%	16%	18%	23%	19%	24%	0%	43%	0%	41%		
	40歳代	22%	13%	35%	0%	30%	4%	26%	9%	33%	0%	33%	0%	27%	9%	37%	0%	37%	0%	27%	9%	29%	10%	14%	19%	5%	32%		
	50歳代	4%	13%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	10%	10%	10%	10%	9%	9%	0%	11%	0%	11%	9%	9%	5%	10%	0%	19%	0%	18%		
	60歳以上	4%	0%	4%	0%	4%	0%	0%	4%	5%	0%	5%	0%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	5%	0%	0%	5%	0%	5%	5%	0%	0%	
	合計	23	23	23	23	23	21	21	22	19	19	22	19	22	19	20	19	20	21	21	21	21	21	22	21	22			
開業直前の職業	常勤役員	0%	5%	4%	0%	0%	4%	4%	0%	5%	0%	0%	5%	0%	5%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	
	正社員（管理職）	15%	20%	30%	0%	26%	4%	22%	9%	32%	0%	33%	0%	24%	10%	30%	5%	35%	0%	19%	14%	25%	10%	14%	19%	0%	33%		
	正社員（管理職以外）	5%	25%	35%	4%	30%	9%	26%	13%	32%	5%	29%	5%	19%	14%	10%	20%	10%	20%	24%	10%	15%	15%	5%	29%	0%	33%		
	非正社員	0%	10%	4%	4%	4%	4%	4%	0%	9%	0%	0%	10%	0%	10%	5%	5%	5%	5%	0%	10%	0%	10%	0%	10%	0%	10%		
	その他	10%	10%	13%	4%	13%	4%	17%	0%	9%	9%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	5%	14%	5%	14%		
合計	20	23	23	23	23	22	21	21	21	21	20	21	20	20	20	20	21	20	21	20	21	21	21	21	21				
勤務キャリア	勤務経験あり	10%	20%	25%	5%	20%	10%	15%	15%	25%	5%	26%	5%	15%	15%	16%	16%	16%	16%	20%	10%	16%	16%	5%	25%	0%	30%		
	現在の事業関連の経験有	25%	25%	45%	5%	40%	10%	35%	15%	40%	10%	32%	16%	30%	20%	26%	21%	32%	16%	30%	20%	21%	26%	10%	40%	10%	40%		
	管理職経験あり	0%	15%	15%	0%	15%	0%	10%	5%	15%	0%	16%	0%	5%	10%	16%	0%	16%	0%	15%	0%	11%	5%	0%	15%	0%	15%		
	経営経験あり	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	5%	0%	0%	5%	5%	0%	5%	0%	0%	5%		
	合計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	20	19	20	19	19	19	20	19	20	19	20	20	20	20				

## 21. RESASデータ

※久留米広域定住自立圏（うきは市、久留米市、大川市、小郡市）での比較データを掲載

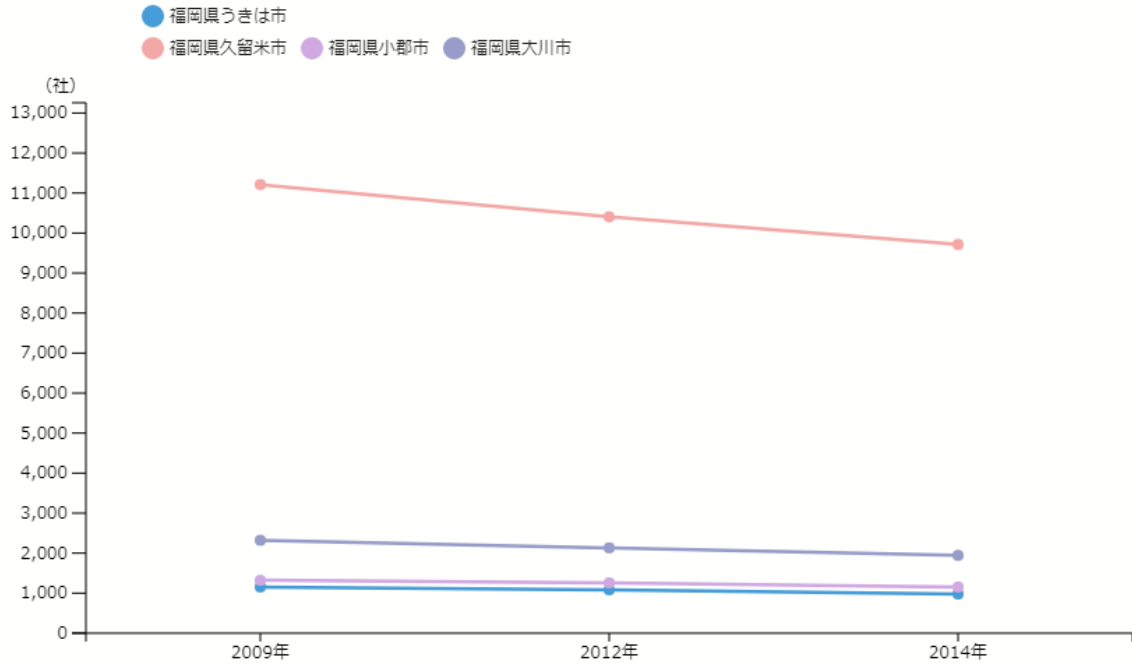
### 創業比率



福岡県うきは市 2014年		
都道府県内	全国	
<b>50</b> 位	<b>1,108</b> 位	
全国上位10市区町村	全国下位10市区町村	指定地域の上位下位5市区町村
1位 岩手県山田町	1,721位 京都府伊根町	1,099位 秋田県由利本荘市
2位 岩手県大槌町	1,722位 鹿児島県大和村	1,104位 北海道夕張市
3位 福島県広野町	1,723位 宮崎県椎葉村	1,105位 大分県豊後大野市
4位 福島県川内村	1,724位 北海道えりも町	1,105位 和歌山県日高川町
5位 東京都三宅村	1,725位 福島県三島町	1,105位 山梨県丹波山村
6位 岩手県陸前高田市	1,726位 沖縄県渡名喜村	<b>1,108位 福岡県うきは市</b>
7位 東京都渋谷区	1,726位 鹿児島県三島村	1,108位 長野県高山村
8位 北海道仁木町	1,726位 高知県大川村	1,108位 長野県原村
9位 宮城県女川町	1,726位 東京都青ヶ島村	1,111位 山口県長門市
10位 北海道占冠村	1,726位 東京都利島村	1,111位 青森県大間町
		1,113位 徳島県鳴門市

# 企業数

産業：すべての大分類 > すべての中分類



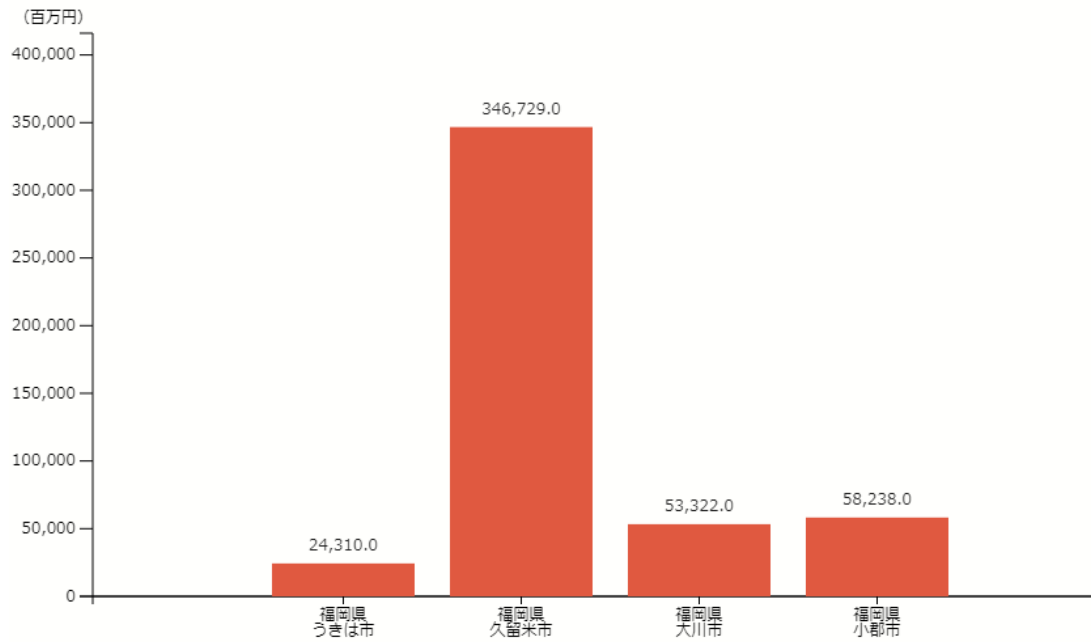
福岡県うきは市		
2014年		
都道府県内	全国	
<b>28</b> 位	<b>765</b> 位	
全国上位10市区町村	全国下位10市区町村	指定地域の上位下位5市区町村
1位 大阪府大阪市	1,730位 沖縄県北大東村	760位 沖縄県南風原町
2位 愛知県名古屋市	1,731位 鹿児島県三島村	760位 新潟県胎内市
3位 神奈川県横浜市	1,731位 東京都青ヶ島村	762位 兵庫県相生市
4位 京都府京都市	1,733位 高知県大川村	763位 長野県白馬村
5位 兵庫県神戸市	1,734位 沖縄県渡名喜村	764位 茨城県阿見町
6位 北海道札幌市	1,735位 福島県浪江町	<b>765位 福岡県うきは市</b>
7位 福岡県福岡市	1,736位 福島県楢葉町	766位 北海道中標津町
8位 広島県広島市	1,737位 福島県飯舘村	767位 愛知県東浦町
9位 福岡県北九州市	1,737位 福島県大熊町	768位 岡山県美作市
10位 神奈川県川崎市	1,737位 福島県富岡町	769位 長野県東御市
		770位 山梨県葎崎市





## 付加価値額（企業単位） 2012年

産業：すべての大分類 > すべての中分類

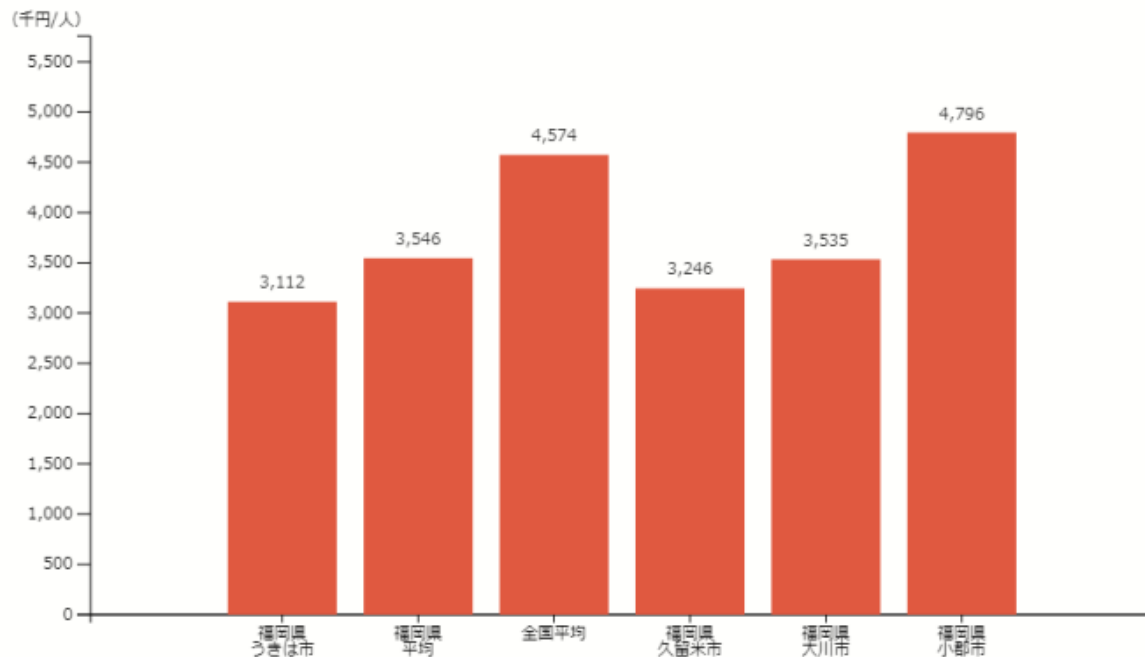


福岡県うきは市		
2012年		
都道府県内	全国	
<b>33</b> 位	<b>802</b> 位	
全国上位10市区町村	全国下位10市区町村	指定地域の上下位5市区町村
1位 東京都千代田区	1,725位 北海道音威子府村	797位 大阪府熊取町
2位 東京都港区	1,726位 和歌山県北山村	798位 北海道中標津町
3位 大阪府大阪市	1,727位 島根県知夫村	799位 岐阜県美濃市
4位 東京都中央区	1,728位 東京都青ヶ島村	800位 栃木県那須烏山市
5位 愛知県名古屋市中区	1,729位 沖縄県北大東村	801位 秋田県鹿角市
6位 神奈川県横浜市	1,730位 新潟県粟島浦村	<b>802位 福岡県うきは市</b>
7位 東京都新宿区	1,731位 東京都羽村町	803位 福島県西郷村
8位 東京都渋谷区	1,732位 鹿児島県十島村	804位 福岡県中階市
9位 東京都品川区	1,733位 鹿児島県三島村	805位 福岡県嘉麻市
10位 東京都江東区	1,734位 沖縄県渡名喜村	806位 京都府木津川市
		807位 秋田県にかほ市



## 労働生産性（企業単位） 2012年

産業：すべての大分類 > すべての中分類



福岡県うきは市		
2012年		
都道府県内	全国	
<b>27</b> 位	<b>753</b> 位	
全国上位10市区町村	全国下位10市区町村	指定地域の上位下位5市区町村
1位 山梨県忍野村	1,725位 福島県柳津町	748位 大阪府豊田林市
2位 岐阜県笠松町	1,726位 長野県平谷村	748位 三重県度会町
3位 大阪府高石市	1,727位 和歌山県北山村	748位 神奈川県相模原市
4位 東京都千代田区	1,728位 東京都御島村	748位 埼玉県越生町
5位 和歌山県湯浅町	1,729位 熊本県壱山村	752位 石川県川北町
6位 千葉県多古町	1,730位 北海道浦臼町	<b>753位 福岡県うきは市</b>
7位 青森県六ヶ所村	1,731位 鹿児島県三島村	753位 島根県隠岐の島町
8位 東京都港区	1,732位 新潟県粟島浦村	755位 長野県小諸市
9位 福岡県篠栗町	1,733位 鹿児島県十島村	756位 京都府八幡市
10位 高知県中土佐町	1,734位 沖縄県読名喜村	756位 京都府綾部市
		756位 北海道草津町

## 22. 創業及び創業後の支援(相談会・専門家派遣等)について

創業及び創業後の支援についての相談事項としては、「税金について」や「労務管理について」、「借入について」といった意見があった。

### Ⅲ. まとめ

#### ■実務経験を有する(生かせる)分野で開業

現在の事業に関連する仕事を経験した創業者が48%と約半数を占め、管理職(経営経験含む)経験者も21%に上っている。また、開業直前の離職理由としては「自らの意思による退職」が92%と大半を占め、開業動機としては「自由に仕事がしたかった」が48%と約半数を占めている。

このことから、創業者の大半は「自らの経験や意思をもって開業に至っている」ことが伺える。

#### ■開業地(うきは市)に魅力を感じて開業

開業地をうきは市とした理由は、「うきは市が出身地」である方や、「うきは市の雰囲気が入った」方など、うきは市に関連(地縁)のある方やうきは市(地元)に魅力を感じて開業地をうきは市としている。

商圈についても、「うきは市内及びその近郊」の割合が68%と最も多い。また、開業業種については、「サービス業」「飲食店」の割合がそれぞれ32%と最も多く、うきは市が持つ観光資源を活かし開業している創業者が相応にみられる。

#### ■開業規模は小規模

開業時の平均従業員数は一部(派遣業の会社)を除いてそのほとんどが「5名以下(パート、派遣社員等含む)」となっており、開業費用についても「500万円未満」の割合が60%と半数超を占め、「2,000万円を超える」開業費用を準備し開業した方は皆無であった。

また、現在の月商についても、「500万円未満」の割合が92%に上り、うち「50万円未満」は54%を占めているなど、「開業時の規模は比較的小規模で開業している」ことが伺える。

#### ■開業後は売上確保に課題を抱える

予想月商達成率は、「100%未満(予想を下回る売上げ状況)」の割合が91%にも上り、うち「50%未満」が27%と、開業後は予想した売上確保に課題を抱えている様子が伺える。

#### ■開業時、開業後の苦労・悩みはほぼ共通

開業時の苦労・悩みは、「財務・税務・法務に関する知識の不足」の割合が48%と最も多く、次いで「資金繰り、資金調達」「顧客・販路の開拓」がそれぞれ36%、「従業員の確保」が24%、「従業員教育、人材育成」が16%となっている。

対して、現在の苦労・悩みは、「顧客・販路の開拓」「財務・税務・法務に関する知識の不足」の割合がいずれも32%と最も多く、次いで「従業員の確保」「従業員教育、人材育成」がそれぞれ28%、「商品・サービスの企画・開発」が20%となっている。

既述の通り、開業時の苦労・悩みと開業後の苦労・悩みを比較すると概ね共通している。中でも「財務・税務・法務に関する知識の不足」は開業時、開業後共に多くの創業者にとって苦労・悩んでいる項目となっている。このことは、創業するにあたり財務・税務・法務の知識を相応に有して開業する方は少ないことが伺える。

また、「従業員の確保」「従業員教育、人材育成」も開業時、開業後共に多くの創業者にとって苦労・悩んでいる項目となっている。人口減少の中、日本全体が抱える課題と共通したものであり、今後も本項目の苦労・悩みは増していくことになると思料する。

#### ■開業にあたっては、大半が支援機関へ相談

開業にあたり、そのほとんどの方々(約90%)が各種支援機関に開業相談しており、相談せずに自己の知識・能力だけで開業に至った方は少数派である。このことから、開業する創業者のそのほとんどが開業

にあたっての知識・能力に課題を有する方々が多く、各種支援機関の存在は創業者にとって非常に大切なものであり、創業支援策の充実・拡充はこれからも更に希求されるものであると思料される。

### ■創業者の多くが開業後の「やりがい」を感じているが、総合的な満足度は期待値としては不足気味

現在の満足度の中で「やりがい」については、「やや満足」の割合が37%と最も多く、「かなり満足」の33%と合わせて約7割の人が満足している。ただし、「どちらとも言えない(17%)」「やや不満(13%)」と約3割の創業者が満足感を感じていない。

その他、「働く時間の長さ(満足している人の割合は約5割)」や「事業からの収入(満足している人の割合は約3割)」も含めた「総合的な満足度」については、満足している人の割合が約5割となっており、希望を持って創業した方々にとって、開業後の現実(苦労・悩み)と直面しつつも満足感を得ている人は半数程度に留まっている。

しかしながら、今後の方針としては「売上高を拡大したい(80%)」「商圈を拡大したい(54%)」「新たな企業設立意思がある(44%)」といった意見が多くみられるなど、今後の業容拡大(改善)に向けた前向きな意思を持った人が大半である。

### ■RESASデータによる創業分析

うきは市の創業比率については、都道府県内及び全国の創業比率と比較するとその数値は極めて低い状況下にある。データの残る2006年～2012年までは創業比率を落としており、久留米広域定住自立圏において最も低いものであったが、以降2014年にかけては創業比率を伸ばしている。これは、うきは市(U-Bic)やうきは市商工会など各創業関連支援機関が推進する各種創業施策が功を奏し、“魅力あるうきは”において創業する人達が増えてきた結果であると推測される。

ただし、既存企業の「付加価値額」や「労働生産性」については低位に推移しており、久留米広域定住自立圏において最も低い数値となっている。これは、うきは市内における企業活動が低位に推移している(「うきは市に於いて“稼げる企業”が育っていない」、「うきは市での企業経営は“稼げない”」)証であり、今後創業を希望する人たちにとって魅力ある土地(“稼げる”土地)となるべき課題であろうと思料する。

以上の結果をまとめると、うきは市は今後さらに創業者を増やす(創業比率を高める)ことの出来る素地(ポテンシャル)が比較的高い地域であろうと思料される。それは、うきは市は他市町村が羨むほどの観光資源を有しており、本調査における創業者の方々が感じる“うきは市の魅力”はそれ相応に高く、また創業者は各創業関連支援機関からの厚い創業関連支援を得ることができ、安心して開業することができる地域であるからであろう。

ただし、開業後の創業者の現状や既存企業の現状をみると、「稼げる(稼げている)企業が増えていない」という課題がある。創業者の開業後の満足度も期待値ほど高くはなく、逆に相当数の不満もある状況下にあるのが現実である。企業活動の理念は創業者(経営者)、従業員の「働きがい、やりがい」に通じるのであろうが、「利益の追求=稼げる企業であること」が最終的には必要とされるのではないだろうか。

そのためにも、うきは市やうきは市商工会をはじめとする各企業活動支援機関(各金融機関も含む)が創業者や既存企業と密に連携を持ち「オールうきは」で、企業活動がさらに活発となるべく“魅力あるまちづくり(稼げるまちづくり)”を目指していくことが肝要である。